

# 中期目標の達成状況に関する評価結果

島根大学

平成29年6月

大学改革支援・学位授与機構

# 目 次

法人の特徴	.....	1
(法人の達成状況報告書から転載)		
評価結果		
《概要》	.....	3
《本文》	.....	5
《判定結果一覧表》	.....	11

## 法人の特徴

大学の基本的な目標（中期目標前文）

島根大学の理念・目的

本学は、地域的特性を活かしながら、教育・研究・医療及び社会貢献活動を通じて、自然と共生し、豊かで持続可能な社会の発展に努めることを使命とする。

これを実現するために、山陰地方における知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、学生・教職員の協働のもと、次の5つの基本的目標を掲げ、「学生が育ち、学生とともに育つ大学づくり」を推進する。

1. 幅広い教養と専門的能力を身につけ、主体的に行動する人材を養成する。
2. 地域課題に立脚した特色ある研究を推進し、その成果を広く社会に発信する。
3. 地域資源を活用した文化の育成・産業振興、地域医療の充実などの社会貢献活動を推進する。
4. アジアをはじめとする国々との交流を推進し、地域における国際交流拠点となる。
5. 学問の自由と人権を尊重し、学生及び教職員の満足度を高めるとともに、社会の信頼に応える効率的な大学運営を行う。

### 1 教育に関する特徴

学士課程、大学院課程において21世紀の教育改革を担う学校教員、夢と使命感を持ち地域医療に貢献する医療人、専門的基礎学力と総合的視野を持ち、国際的に通用する技術者、社会の要請に応え得る豊かな教養と高い倫理観を備え、科学的探究心に富む人材育成等を重点的に推進している。また、学生が主体的な学びを通じて幅広い知識、広い視野、総合的な判断力を身につけ、人間への理解を深めるとともに豊かな世界観を育むことを目的として、①講義だけではない学びを通して自己の向上を目指す「ソーシャルラーニング（地域社会体験）プログラム」②自らのキャリアを切り開く力をつける「就業力育成特別教育プログラム」③高度な英語力を伸ばしつつ、グローバル社会に必要な資質を養成する「英語高度化プログラム」等の特色あるプログラムを展開している。

### 2 研究に関する特徴

医と理工農、社会科学など融合分野の研究を重点的に推進し、地域に貢献できる新発想に基づく新領域の研究の推進に力を入れている。産業基盤が脆弱な地域に立地しているため、地域産業の振興・育成を重点政策としてきた自治体等と協力し、安価で簡易な先端技術を企業へ導入可能にする島根型のナノテクノロジーの開発、自然と人間が共生する循環型社会の構築のための環境技術の開発、地域産品を活用した健康食品等の開発を中心に産学連携による基礎研究を推進している。

### 3 社会連携・社会貢献に関する特徴

松江市と出雲市に位置する両キャンパスを本拠とし多様な分野の教員を配置している。高等教育機関が極度に少ない島根県にとっては貴重な知の拠点となり、司法・行政・教育界・産業界へ知財を提供することによる貢献度は大きい。このことを自覚しつつ地域のさまざまな知的要求に応える体制づくりを推進するとともに、実践を通じて地域再生に向け活躍する人材を育成する取組に力点を置いている。

#### 4 国際化に関する特徴

過疎・高齢化の先進地域が抱える社会、経済、自然、文化にわたるさまざまな課題に取り組んできた。この研究実績を生かして世界的視野に立ち、アジア諸国を中心に平和な国際社会の発展と社会の進歩のために貢献する人材を育成し、特色ある地域課題に立脚した国際水準の研究を展開し、その成果を世界に発信することを目標に掲げ、学術・文化・人材の交流を推進している。

##### [個性の伸長に向けた取組]

第2期中期目標期間において本学は、全学を挙げて地域を志向する教育・研究を展開することで、地域貢献人材の育成と地域課題解決のための取組を推進し、地（知）の拠点としての機能を強化した。（関連する中期計画）計画3-1-1-1

教育面では、地域社会へ貢献できる人材養成に加え、グローバル社会で活躍できる人材養成に力を入れるとともに、これまで実施してきた学生の正課外活動を活性化させる取組を発展させるなど、学生の主体性を伸ばす教育を実施している。（関連する中期計画）計画1-1-3-3、1-1-3-5、計画1-1-4-1

研究面では、地（知）の拠点としての役割を果たすため、地域課題解決型の研究や分野横断的な学際的研究を強力に推進している。（関連する中期計画）2-1-1-1

##### [東日本大震災からの復旧・復興へ向けた取組等]

特記事項なし

## 評価結果

### 《概要》

第2期中期目標期間の教育研究の状況について、法人の特徴等を踏まえ評価を行った結果、島根大学の中期目標（大項目、中項目、小項目）の達成状況の概要は、次のとおりである。

### ＜判定結果の概要＞

中期目標（大項目）	判定	中期目標（小項目）の判定の分布			
		非常に優れている	良好	おおむね良好	不十分
<b>(Ⅰ) 教育に関する目標</b>	おおむね良好				
① 教育の内容・成果及び実施体制等に関する目標	おおむね良好		1	6	
② 学生への支援に関する目標	おおむね良好			2	
<b>(Ⅱ) 研究に関する目標</b>	おおむね良好				
① 研究水準・研究の成果及び実施体制等に関する目標	おおむね良好			2	
<b>(Ⅲ) その他の目標</b>	おおむね良好				
① 地域を志向した教育・研究に関する目標	おおむね良好			1	
② 社会との連携や社会貢献に関する目標	おおむね良好		1	1	
③ 国際化に関する目標	おおむね良好			2	

**<主な特記すべき点>**

**個性の伸長に向けた取組**

- 地域社会に貢献できる人材養成に向けて、平成 24 年度から大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング事業を実施し、正課・正課外の教育を企業、NPO 法人、地方自治体等、地域の機関・組織と共同で実施することにより、教育に地域機関が参画する仕組みを構築している。（中期計画 1-1-3-5）

## 《本文》

### (I) 教育に関する目標

#### 1. 評価結果及び判断理由

**【評価結果】** 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「教育に関する目標」に関する中期目標(2項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

#### 2. 中期目標の達成状況

##### (1) 教育の内容・成果及び実施体制等に関する目標

**【評価結果】** 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「教育の内容・成果及び実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標(7項目)のうち、1項目が「良好」、6項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

#### <特記すべき点>

##### (特色ある点)

##### ○地域の機関・組織との共同教育の仕組みの構築

中期目標(小項目)「現代社会が抱える課題に応える人材を育成するため、教養教育・専門教育等を充実させ、社会人としての基礎力を高める。」について、地域社会に貢献できる人材養成に向けて、平成24年度から大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング事業を実施し、正課・正課外の教育を企業、NPO法人、地方自治体等、地域の機関・組織と共同で実施することにより、教育に地域機関が参画する仕組みを構築している。(中期計画1-1-3-5)

##### ○英語教育の充実

中期目標(小項目)「グローバル化した社会に対応できる人材を養成するため、国際共通語としての英語教育を充実させる。」について、松江キャンパスの外国語教育センターワークステーションや出雲キャンパスの英語学習支援室「eクリニック」等、授業以外で学生が英語を学べる学習環境の改善に努めており、外国語教育センターワークステーションの利用者は毎年度約2,000名、eクリニックの利用者は平成25年度の開設から毎年度3,000名以上となっており、平成27年度は4,000名を超えている。(中期計画1-1-4-2)

(2) 学生への支援に関する目標

**【評価結果】** 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標(2項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。



## (Ⅱ) 研究に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

**【評価結果】** 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「研究に関する目標」に関する中期目標(1項目)が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 2. 中期目標の達成状況

#### (1) 研究水準・研究の成果及び実施体制等に関する目標

**【評価結果】** 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「研究水準・研究の成果及び実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標(2項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

#### <特記すべき点>

##### (特色ある点)

#### ○研究インフラの効率的運用体制の整備

中期目標(小項目)「本学の研究の個性化と質の向上を一層進めるために全学的研究連携・支援体制を強化する。」について、汎用性・共通性の高い研究基盤機器の多くを総合科学研究支援センターに設置し、利用者向けの教育・研修を行っている。平成22年度には研究基盤機器のオンライン予約システム等を用いて、研究インフラを効率的に運用する体制を整備しており、平成27年度の利用者数は1,569名、利用件数は136,750件となっている。(中期計画2-1-2-2)

(Ⅲ) その他の目標

1. 評価結果及び判断理由

**【評価結果】** 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「その他の目標」に関する中期目標(3項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 中期目標の達成状況

(1) 地域を志向した教育・研究に関する目標

**【評価結果】** 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「地域を志向した教育・研究に関する目標」の下に定められている具体的な目標(1項目)が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

<特記すべき点>

(特色ある点)

○地域志向科目の可視化

中期目標(小項目)「島根県内の地域社会と連携し、全学部・全研究科において地域を志向した教育・研究の一層の伸展を図り、もって地(知)の拠点としての機能強化を推進する。」について、既存の地域志向科目を地域基盤型教育科目(BS科目)又は地域課題解決型教育科目(CS科目)として指定し可視化するなどの取組を推進し、平成27年度は42件のBS科目、59件のCS科目を開講し、両科目を合わせて延べ約3,200名の学生が受講している。(中期計画3-1-1-1)

## (2) 社会との連携や社会貢献に関する目標

**【評価結果】中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 「社会との連携や社会貢献に関する目標」の下に定められている具体的な目標(2項目)のうち、1項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

**<特記すべき点>****(優れた点)**

## ○大学発ベンチャーへの支援

中期目標(小項目)「地域産業の振興及び地域医療の充実に向けた産学官の連携を強化する。」について、平成26年度に地元金融機関と大学発ベンチャー等支援に関する協力協定を締結するとともに、平成27年度に大学発のベンチャービジネスを支援する10億円規模の大学発・産学連携ファンド「しまね大学発・産学連携投資事業有限責任組合」を設立しており、同ファンドからの投資による大学発のベンチャー企業2社が設立されている。(中期計画3-2-1-1)

**(特色ある点)**

## ○地域に根ざす医師を目指す学生への教育の実施

中期目標(小項目)「地域産業の振興及び地域医療の充実に向けた産学官の連携を強化する。」について、地域に根ざす医師を目指す学生の教育を行い、医学部医学科における県内就職者は第2期中期目標期間(平成22年度から平成27年度)を通じて180名以上となり、中期計画に掲げる60名程度を上回っている。

(中期計画3-2-1-3)

(3) 国際化に関する目標

**【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 「国際化に関する目標」の下に定められている具体的な目標(2項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

<特記すべき点>

(特色ある点)

○海外大学との共同研究の推進

中期目標(小項目)「地域課題に焦点をあてた国際交流を戦略的に推進し、その成果を国内外へ発信する。」について、重点協定大学である寧夏大学(中国)との共同研究所である島根大学・寧夏大学国際共同研究所を拠点とし、中山間地(条件不利地域)の持続可能な発展をテーマにした共同研究を20年以上継続し、日中国際学術セミナーを第2期中期目標期間に5回開催している。

(中期計画 3-3-1-2)

《判定結果一覧表》

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
(I) 教育に関する目標		おおむね良好	
① 教育の内容・成果及び実施体制等に関する目標		おおむね良好	
主体的に学び自らを高めようとする人材を確保する。		おおむね良好	
1-1-1-1	入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)の見直し・検討を進め、それに沿った入学者選抜方法の改善を行い、効果的な入試広報や高大接続の取組みを充実させる。	おおむね良好	
1-1-1-2	本学進学 of 動機付けを促すため学内外で行う体験的な学習の機会を充実させ、中学・高校と大学の円滑な接続を図る。	おおむね良好	
1-1-1-3	理系の女性研究者等の裾野の拡大を目的として、女子高生の進路選択を促進するための事業を行う。	おおむね良好	
教養教育と専門教育を通して、主体的に学ぶ力を身につけ、豊かな人間性と社会性を備えた人材を育成することができるよう、学士課程教育の質を保証し、学士力を高める。		おおむね良好	
1-1-2-1	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)及び学習到達目標(ラーニング・アウトカム)を明確にし、それに沿った教育実現のための学士課程教育を体系的に整備する。	おおむね良好	
1-1-2-2	単位の実質化を保証する成績評価を行うとともに、卒業認定を厳格化する。	おおむね良好	
現代社会が抱える課題に応える人材を育成するため、教養教育・専門教育等を充実させ、社会人としての基礎力を高める。		良好	
1-1-3-1	高大接続、補完・初年次教育等の充実を図り、入学者の学力水準を高め大学教育課程へ円滑に移行させる。	おおむね良好	
1-1-3-2	環境教育、フィールド学習等の体験型学習の充実を図り、地域の「人と自然」に学ぶ教育を推進する。	おおむね良好	
1-1-3-3	学生が自主的に行う正課外活動を積極的に評価する取組みを充実させる。	良好	
1-1-3-4	教養教育及び専門教育におけるキャリア教育を充実させる。	おおむね良好	
1-1-3-5	地域社会に貢献できる人材を養成するため、地域機関等との連携を強化し、現場重視型の教育を展開する。	良好	特色ある点
グローバル化した社会に対応できる人材を養成するため、国際共通語としての英語教育を充実させる。		おおむね良好	
1-1-4-1	習熟度別に基礎力を伸ばすとともに、学年進行に従って専門教育と有機的関連のある英語カリキュラムを設定し、英語教育の充実及び高度化を推進する。	おおむね良好	
1-1-4-2	正規の授業以外で学生が英語を学べる学習環境の改善と英語学習支援を強化する。	良好	特色ある点

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
高度の専門性と応用力、創造力を身につけることができるよう、大学院課程教育の質を保証し、大学院教育の国際的通用性、信頼性を向上させる。		おおむね良好	
1-1-5-1	学位授与方針及び学習到達目標を明確にし、学内外の研究科間の連携を図りながら、国際通用性を高めるべく大学院教育を体系的に整備する。	おおむね良好	
1-1-5-2	大学院課程で身につけた専門性を活かして、高度専門職業人として地域社会に貢献できる人材を養成する。	おおむね良好	
1-1-5-3	単位の実質化を保証する成績評価を行うとともに、修了認定を厳格化する。	おおむね良好	
教育全体の継続的検証・評価・改善により、教育の質保証及び質向上を促進する。		おおむね良好	
1-1-6-1	教員の教育力向上を図り、教育内容・方法の改善を進めるため、学生評価や同僚評価（ピア・レビュー）を核とした組織的・実質的FD（ファカルティ・ディベロップメント）活動を推進する。	おおむね良好	
1-1-6-2	教育力向上を目的として、近隣大学とのネットワークを強化する。	おおむね良好	
1-1-6-3	教員の教育活動に対するより効果的な評価システムを構築する。	おおむね良好	
現代社会が抱える課題に機敏に対応できるよう必要な組織整備を実施する。		おおむね良好	
1-1-7-1	教育の質を確保するとともに社会の要請に応えるため、必要に応じて法科大学院を含めた大学院課程及び学士課程における学生定員と組織の見直しを行う。	おおむね良好	
② 学生への支援に関する目標		おおむね良好	
学生の自主的学修を促進するため、教育環境を整備する。		おおむね良好	
1-2-1-1	I T（インフォメーション・テクノロジー）環境、自学・自習スペース等を整備し、学生の自主的学習を促すとともに、T A（ティーチング・アシスタント）、メンター等の人的学習サポート体制を充実させる。	おおむね良好	
学生の修学、進路選択、及び学生生活等に関する相談体制を強化する。		おおむね良好	
1-2-2-1	履修方法、専門・専攻の選択に関するガイダンス、学習相談、助言を適切に行う。	おおむね良好	
1-2-2-2	学生の修学に対する経済的支援を充実させる。	良好	
1-2-2-3	キャリアセンターの活動を充実させ、各学部・学科と連携し進学・就職支援体制を整備し強化する。	おおむね良好	
1-2-2-4	女性研究者等の裾野の拡大を目的として、女子学生の大学院への進学を支援する。	おおむね良好	
1-2-2-5	学生の心身の健康相談に対処するため保健管理センター機能を強化し、学生支援部門及び各学部・学科との連携・協力体制を構築する。	おおむね良好	
1-2-2-6	学生支援を強化するため、教員組織と事務組織の協働に向けたSD（スタッフ・ディベロップメント）活動を推進する。	おおむね良好	

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
<b>(Ⅱ) 研究に関する目標</b>		おおむね良好	
① 研究水準・研究の成果及び実施体制等に関する目標		おおむね良好	
地域の知の拠点としての役割を果たすとともに、地域課題及び本学の研究蓄積に立脚した特色ある国際的水準の研究を重点的に推進し、その研究成果を積極的に社会に還元する。		おおむね良好	
2-1-1-1	文化的、自然的地域資源に関する研究を推進するとともに、地域産業や地域医療を牽引する先駆的技術に関する研究を推進する。	おおむね良好	
2-1-1-2	中山間地域、過疎、高齢化、自然災害などの地域課題解決に向けた研究を推進する。	おおむね良好	
2-1-1-3	汽水域・水環境に関する研究及び医理工農連携に関する研究の強化を図るとともに、研究成果を積極的に学内外へ公表する。	おおむね良好	
本学の研究の個性化と質の向上を一層進めるために全学的研究連携・支援体制を強化する。		おおむね良好	
2-1-2-1	学際的、個性的で質の高い研究を維持・創出するため、研究専念制度等を整備するとともに、若手研究者を育成する。	おおむね良好	
2-1-2-2	設備整備マスタープランに沿った研究機器整備並びに学術情報基盤整備等の研究環境の向上に取り組む。	おおむね良好	特色ある点
<b>(Ⅲ) その他の目標</b>		おおむね良好	
① 地域を志向した教育・研究に関する目標		おおむね良好	
島根県内の地域社会と連携し、全学部・全研究科において地域を志向した教育・研究の一層の伸展を図り、もって地（知）の拠点としての機能強化を推進する。		おおむね良好	
3-1-1-1	地域における地（知）の拠点として、地域の抱える①産業空洞化、②市街地空洞化、③地域医療危機、④過疎・高齢化などの課題に対して、地域基盤型教育と地域課題解決型研究の更なる推進を図ることにより、もって地域ニーズに応じた人材の育成及び地域社会の課題を解決するための取組みを推進する。	おおむね良好	特色ある点
② 社会との連携や社会貢献に関する目標		おおむね良好	
地域産業の振興及び地域医療の充実に向けた産学官の連携を強化する。		良好	
3-2-1-1	大学の知が地域に還元できる学内体制を整備・充実し、地域の産業界や医療機関及び自治体等との連携を強化する。	良好	優れた点
3-2-1-2	地域産業人材育成コース等の社会人受け入れを充実させるとともに、企業や自治体の知的・人的資源を有効活用して、地域産業を担う高度な人材を育成する。	おおむね良好	
3-2-1-3	地域医療の充実に向け、地域枠推薦入試等で受け入れた学生を中心に、低学年次から県内の医療機関等と連携するなどした地域医療実習及びセミナーへの参加を通じて、県内の地域医療に興味と熱意を持つ人材を期間中に60名程度育成し、若手医師の県内定着に取り組む。	良好	特色ある点

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
多様な教育研究活動を通じて地域文化の発展に資する。		おおむね良好	
3-2-2-1	公開講座・公開授業について検証を行いつつ、地域住民の学習ニーズの多様化、高度化に応じた学習機会を充実させる。	おおむね良好	
3-2-2-2	地域の教育・文化に係る関係機関との連携・協力関係を強化し、地域の教育並びに文化の保全・継承・創造に貢献する。	おおむね良好	
3-2-2-3	附属図書館・ミュージアムは関係機関との相互協力のもとで、地域社会に学術情報を提供することにより地域に対するサービスを充実させる。	おおむね良好	
③ 国際化に関する目標		おおむね良好	
地域課題に焦点をあてた国際交流を戦略的に推進し、その成果を国内外へ発信する。		おおむね良好	
3-3-1-1	戦略的な国際交流を推進するために、これまでの交流実績に基づき交流協定大学の重点化を進める。	おおむね良好	
3-3-1-2	重点協定校群を軸に国際連携を展開し、東アジアをフィールドにした島根大学の特色ある共同研究、学生交流を推進する。	おおむね良好	特色ある点
本学学生の海外派遣と海外からの留学生、研究者の受け入れ体制を強化する。		おおむね良好	
3-3-2-1	派遣留学生への財政的支援、教育支援をさらに充実し、海外留学・海外研修経験者を増加させる。	おおむね良好	
3-3-2-2	外国人留学生と日本人学生との交流機会の増大を図るとともに、日本文化研修・日本語学習面での支援を強化する。	おおむね良好	
3-3-2-3	帰国留学生間のネットワークづくりを推進する。	おおむね良好	
3-3-2-4	地域と共同して外国人留学生や外国人研究者の受け入れ体制・環境を充実させる。	おおむね良好	